

しづがや 区議会 だより

250

第3回定例会号

平成23年(2011)
11月20日発行

主な内容

代表質問・一般質問	2～5面
決算特別委員会審査概要	5面
委員会の活動状況	6面
決算に対する各会派の意見	7面
議案等の概要と結果	8面

発行 / 渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎(3463)1096(直通)

渋谷区議会ホームページ
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>



小学校陸上記録会

平成22年度各会計歳入歳出決算額

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	857億1,456万4,211円	809億7,496万7,223円	47億3,959万6,988円
国民健康保険会計	207億 587万7,175円	198億 587万7,175円	9億 円
老人保健医療事業会計	1,224万5,849円	1,224万5,849円	0円
介護保険事業会計	105億8,423万1,792円	105億 274万7,124円	8,148万4,668円
後期高齢者医療事業会計	38億8,217万3,858円	38億6,810万7,858円	1,406万6,000円

平成二十二年 各会計歳入歳出決算を認定

渋谷区暴力団排除条例制定、平成二十三年 一般会計補正予算、国民健康保険事業会計補正予算を可決

平成二十三年第三回定例会は、九月二十八日から十月二十五日までの二十八日間開かれ、初日と二日目の本会議では、六人の議員が代表質問を、四人の議員が一般質問を行いました。
十月七日の中間本会議では、平成二十三年 一般会計補正予算及び国民健康保険事業会計補正予算を可決しました。
十月二十五日の本会議では、区長提出議案一件を可決、平成二十二年各会計歳入歳出決算五件を認定、報告五件を聴取し、請願一件を採択、三件を不採択とし、意見書一件を決定しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

政府は、平成二十三年十月発表の月例経済報告において、景気は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況にある中、持ち直しの兆しが見えつつあり、個人消費や輸出の伸びは、企業収益が減少し、電力供給の制約や原子力災害の影響、また海外景気の下振れ、為替レート・株価の変動等による景気の低下リスクが存在することを指摘している。
こうした状況の中で、現在東京都が実施している固定資産税、都市計画税の減免措置等は、厳しい経営環境にある中小企業にとって、事業の継続化や経営の健全化に大きな役割を果たしている。これらの減免措置等について東京都が都財政を優先させて見直しを行うとすれば、中小企業経営者の経営や生活さらには雇用をひいては、地域社会の活性化等にも悪影響を受けた日本経済の回復に大きな影響を及ぼすものと考え、中小企業者等の経営基盤の支援強化を図るための措置を平成二十四年度以降も継続することを強く求めるものである。

- 一 小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置
 - 二 小規模非住宅用地に対する固定資産税、都市計画税の減免措置
 - 三 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を八十五パーセントに引き下げる軽減措置
- 以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。
平成二十三年十月二十五日

東京都知事 あて

渋谷区議会議長各

代表質問

渋谷区の防災力について等 9 点を問う



自由民主党 下嶋 倫朗 議員

渋谷区は、整備中の防災センターは、情報の一元化を図るが、自主防災組織とは、どのような手段で情報の共有を図るのか、災害時要援護者名簿の更新期間短縮を、帰宅困難者対策が都等と役割分担が異なる、区長の所見を伺う。
区長 出張所等を情報受発信機の基地とし、デジタル無線等様々な情報手段を講じる。必要に応じて対応。都及び二十二区の連携・協働、企業等の協力のための努力をする。
放火確認調査に関する区の取り組みについて
区長 渋谷区の独自基準を設けたら、除染を行う予定はあるのか、都から貸与される線量計の種類や、区民の不安解消のための中・長期的な計画を伺う。
区長 根拠もなく、独自に基準値を変えることは、区民に不安を呼び、風評被害を生

じる。国の基準を踏まえ、対応をしていく。貸与予定の機器はガンマ線を選択する給食食材の汚染状況等を把握するため、今年度は定期的なサンプリング調査を実施したい。
児童虐待について
支援が必要な家庭に戸別訪問により問題解決を図る養育支援協議会の拡充を、区に専門職を置くべき。児童相談所の事務移管について、時期を含め区長の所見を伺う。
乳児家庭長全戸訪問事業を実施し、専門機関と連携した支援を行っている。また関係機関からの情報に基づき養育支援訪問事業を実施。今後母子育て不安を持つ家庭の把握と支援に努める。区で活用できる福祉関係職員等で職種の補強を図り対応する。
緊急な事務移管が必要。二十二区連携して対応していく。
分煙について
渋谷区等の分煙重視地区において、喫煙者の環境、構造等の検討を、駅構内など完全分煙スペース設置を鉄道事業者に求める考えは、町会、事業者等が協力した体制を構築できないか。
区長 整備に着手するところであり、順次取組んでいく。要請努力を払い、更に研究が必要。

児童イシューサービス事業に助成も行っている。
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問
地区計画策定は、都ではなく区が主体となる。区は、駅周辺ゾーンの早期再開発を、都に要請し、玉川上水開渠部分に高度処理水を循環させ、せせらぎの復活を図る。地区計画は地元住民の意思により区が主体で決定すべき。まちづくり指針に基づき地区計画を早期に策定。高度処理水の可能性も含め、都に強く要望したい。

自転車行放火について
自転車の交通ルール遵守等にに向けた施策、環境整備と、小中学校で行われている自転車運転マナー等の教育機関との各種交通安全教室の実施、リアルフレット配付を行った。
自転車安全利用五原則の周知と、路面表示等による安全な歩行空間の確保、関係機関との各種交通安全教室の実施、リアルフレット配付を行った。ヘルメット着用等啓発も含め、PTA等と連携し安全教室の充実にも努めていく。
子ども教育を中心に教育費減に環境整備について
区長 本町小学校の待機児童解消に向けて環境整備。
開校に向けた日程を卒業式との対応を、本町小学校を渋谷本町学園の第 1 フラウンディングとして整備し、併せて校庭地下に防火水槽を、本町第一保育園施設更新では、保育園児を福祉センター、敬老館機能を一休として取組む。本町地区の待機児童解消に向けた取り組みを、今年度開設。現三年

生のお業式開催に努力する。書面を提出と受け止める。参考にする。もう一ヵ所幼稚園に一元化施設を置き、待機児童の努力を挙げたい。
教育について
新学習指導要領では、学力の二極化も懸念されるが、ソニー、土曜・放課後学習クラブ、土曜校での英語の授業を、小学校での英語授業の評価を、中学校との連携について教育長に伺う。きめ細かな指導等を通して確かな学力の育成に努める。双方を上手に活用し、学力の向上につなげていく。
国際理解 3C(コミュニケーション)能力の養育について
区長 自給自足の農業を育て、成果を生かして、小学校と中学校の円滑な接続を図る。

本庁舎及び区内施設の耐震化等 9 点を問う
民主 党 佐々木弘明 議員
区内本庁舎及び区内施設の耐震化について
区施設の一部に耐震基準Bランク以下の施設が残っている。区役所本庁舎もBランクで安全性に不安がある。財政調整基金等を活用し本庁舎建替え、区内施設の耐震化を図る。
本庁舎建替えは時期の見極めが必要。本庁舎、区施設の耐震化は、効率的な行政運営の中で取組んでいく。
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問

区内本庁舎及び区内施設の耐震化について
区施設の一部に耐震基準Bランク以下の施設が残っている。区役所本庁舎もBランクで安全性に不安がある。財政調整基金等を活用し本庁舎建替え、区内施設の耐震化を図る。
本庁舎建替えは時期の見極めが必要。本庁舎、区施設の耐震化は、効率的な行政運営の中で取組んでいく。
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問
都計 11-13-1 自由民主党の代表質問

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障



総合防災訓練

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

知的障害者専用の遊園地指定等の検討が必要。障害者のある子どもたちの放課後余暇支援の場を作る考えは、区長 ほか、あび原宿等を予定。更に対応していく。日中一時支援事業を実施。障

問 力を積極的に活用し、財政の健全性を維持しつつ区民サービス向上・改善を図りたい。

答 新聞等で区の災害対応力が高く評価された。大震災の教訓を活かした地防災の検証、必要に即した防災計画の見直し等、今後も市民の安全・安心を確保してほしい。評価の感想とあわせて所見を伺う。総合防災訓練の評価と、今後の更なる充実を期待するが、防災無線が聞こえない、聞きづらい等声があり、大事な情報伝達の支障となるので改良を望む。

問 地域防災力強化を目標として、自主防災会や消防団、事業者等の協力による総合対策の積み重ねによる防災力の多様化、災害時要援護者対応の充実、災害時医療や学校・保育園の子どもの安全確認等、様々な課題を着実に進めていきたい。今年は、参加型初動対応訓練の実施、各関係機関相互の連携、帰宅困難者支援施設の体制確認等、防災対応訓練により日頃の備えの自覚を高めた。今後も反省の中で充実を。デジタル化して改善を図り、防災マニュアル等多様な伝手段の活用も伺いたい。

問 区内の放射線量調査は高い数値を示す箇所はなく、神経質に頻繁に測定する必要はないと思うが、今後の測定は放射能健康影響検討会の意見を聴取しながら進め、また七月の講演会を旨とする。二月末等で幅広く広報すべきだが、区長、計画的・定期的調査等

を通して区民の安全・安心を高めたい。区民に伝える努力もしていきたい。



防災倉庫の主な備蓄品

問 明年は八十周年という佳節を迎える、くみんの広場等で工夫しに残るものにして、記念事業の一環として国際交流を積極的に進めてはどうか。

問 校説明会での保護者の反応と、教育の特徴を伺いたい。教科書バリエーションに基づき、障害のある児童生徒への対応について。

答 順位を定めず、耐久性の高いものも順次普及していく。教育長、相談や、質問・要望が寄せられ、期待の大きさを改めて感じた。特色は、子どもの発達や学習内容に合わせて、四年、三年のまとまりに分け、初等部は基礎学力の確実な定着を、学級担任制や少人数指導で充実。一部教科担任制や乗り入れ授業等で学力向上を目指し、部活動にも参加出来る。高等部は発展期で、専門性の高い授業で学力を高め、高校や大学等にも連携し進路指導の充実を図る。また行事は九月半、緒に計画したり、成果を立派に中学校に広め、学力の定着と豊かな心の育成に活かしていく。視覚障害対応の拡大教科書を配布し、他児童と同環境的に応じた教育に努める。

問 戸建て住宅の改修事業、住居困難者改修支援制度について。

問 消費増税、復興増税、法人税減税と住民への増税中止を政府に求めよ。区長、国で議論すべきこと。

問 公立学校の耐震化率は二十区以下から一番目。震度六強で倒壊の恐れがある山谷小・神宮中、危険度、本町第二の各保育園の耐震化を直ちに引き上げよ。木造住宅耐

施設建設優先から、くらしと福祉、防災対策優先の区政を



日本共産党 牛尾 真己 議員

東日本大震災と関係の問題
被災者を主人公とした復興支援を強化し、子どもも被災を防ぐために継続的な射撃能測定と数値公表を。脱原発と再生可能エネルギーへの転換を国に求めるとともに、転換に照明のLED化等と省エネ型機器への更新の促進。太陽光発電設備設置補助金の実施、復興助成の復活。防災無線測定は継続して実施する。原発については首相の所信表明は当然の発言、エネルギー政策は国の役割であり、発電設備や売電の助成は考えない。

震災改修成金は算算を超える申請にも助成し、助成限度額を引き上げ、全棟調査の実施。制度マシンの「アドバイザー」の制度の復活と改修助成費の上乗せをすべし。私立保育園や障害者施設の耐震化、備蓄品や情報手段の確保等を施設任せせず、防災計画に位置付け、災害メールも支援を。施設整備計画を検討中。予算超過の恐れがあれば検討する。助成額の引き上げや全棟調査の実施の考えはない。マンションは居住者間の耐震化意識に努める。まずは事業者が対応し、補償は避難所との連携で、災害メールは公園運営に指導する。

下げ、減免制度の拡充を。後高齢者医療保険引き抑制を働きかけよ。広域保育園を都立のまっすぐなよう求めよ。保護の公的責任放棄を。子どもを育て新システムに反対し、認可園の設置で待機児童解消を。校区保育園は復活、西原保育園は公設で存続させよ。ピアハウス恵比寿は契約更新制度は対等な住宅間易改修促進制度は対等な住宅間易に拡大し、区の負担率を引き上げよ。

安全確保に關する指針について
より、安全の確保が關しているが、子どもと保護者の声を踏まえ以前のように遊具の設置を望む。子ども同士は遊びの中から危険を察知する能力が身につく。また遊具の撤去されていない公園では、補修による費用節約を望む。



放射線量測定の様子 (豊ヶ谷保育園)

問 港区側工場の改修について、経済、恵比寿側も働きかけを、解決すべきと認識する。区長

問 近隣住民の合意もない豊ヶ谷の公園計画の進捗はやめよ。今後の施設建設は豊ヶ谷福祉、防災優先に税金の使い方を改める立場で見直し。区長、見直す考えはない。

問 千代田区環境政策に際し、千一政策及び環境政策に際し、取り組むについて。区長、本町学区にも導入される中熱利用システムは、低いコストで最も安全性の高い

恵比寿東公園2号公園の遊具
遊具



恵比寿東公園2号公園の遊具



タバコの分煙・喫煙マナー、そして防煙設備等について

問 喫煙所付近の煙を速く受動喫煙が減少しているようだ。喫煙ボックスを設置し、路上喫煙防止、受動喫煙のキャンセルをすすめる等で防煙を高め、きれいなまちづくり推進協議会との会合を兼ねて、条例形成化せぬよう、前述して欲しい。

答 喫煙ボックス設置は場所や大きさによって配慮が必要で、道路交通法上の課題等があり難しい。企業や街とも連携し、意見解決や提言をいたただき課題解決に努めたいという制度について

問 商店会加入限定の信用保証補助金を、以前と同様に経営者負担を減らす政策を、区長、多くの事業者や商会の制度を利用して、商店会は地域活性化の努力をしたい。また、は商店会に加入して頂きたい。

特色ある保育園・幼稚園づくり、公園カフェ併設等を伺う

無所属 長谷部 健 議員 (Portrait of Ken Hasegawa)

問 公園の貸切活用や年間水泳教室等、特色ある教育を保育園・幼稚園にも拡大を、空き地等を借り受け、耐震や耐熱に優れたパネル工法を採用する等して、期間限定の保育園新設を検討願いたい。区長、保育と教育内容を体系的にまためた幼児教育プログラムも作成するなど、色々な努力をしている。環境、期間、スペース等考慮し計画を提示する予定。パネル工法も検討し取り入れたい。

問 都会のオアシスの公園で、障害者雇用、訓練の場となる公園カフェの新設を望む。区長、アイデアを受け止めて活用できる場を考えていく。また、北比呂等寺町地区の特色を、アパレル事業者から寄付として受けた遊園地を区民フリースペースとして活用し、若い世代も区のイベントに開きやすい等、渋谷ならではのアイデアを具体化してはどうか。

区長 くみんの広場にフットボールの貸すので障害者団体等と連携・協力してやって頂きたい。

問 フラッシュを主に街全体を駆け、消費者も楽しめるイベントを、来年以降応援してほしいかが、そのネットワークは震災時の対応等にも役立って考えられるか。区長 広がりのある人様参加や連携協力になるようにしたい。出来るようなイベントが、出来るように協力したい。

問 充実した内容の防災訓練だったが、お年寄りや心当たり、例えば休日公開催しではないか、また、学校に泊まる、という企画や、代々木公園で震災を想定してキヤノン等を等、若い世代が参加しやすい訓練を、隔年加わって支援プログラムを配布、説明したり、街頭告知してはどうか、若い世代にアプローチする事が、避難訓練をより実践的効果的とする事に繋がるか、区長 マンション住民や企業から、若い人も多めに協力からしている。隔年困難者対策は隔年ではなく、方向に変えてなど、夜間訓練も計画するなど、高齢者の方々も評価してほしい。

問 設置への今後の展開と計画を具体的に聞かせてほしい。教育長、学識経験者、地域関係者等の検討会で検討を進めてきた。まず猿楽小・長谷戸小の校で試行し、段階的に鎌田中を含めた高台の学校を鎌田部へ移行し、地域全体で学校を支える体制をつくる。

問 町会等について。町会が高齢化が進み負担が重くなってきている。数を半数近くにして、若い担い手を積極的に活用して、どうにか再建について議論の投げかけを促してはどうか。区長 地域コミュニティ活動は本質的に難しい。若い人が自主的に出てくる環境づくりが重要であり、みんなが協力する場面で、みんなが協力して、プレバパークの再開について。

問 はるのおがわプレバパークは利用率の高い公園で、西原、恵比寿も出張し、パークを運んできた。事業の拡大について伺う。区長 地域と連携、協力して理解をしてもらえ、お互いが喜ぶような活動の提案を願いたい。

問 七月の講演会「放射線と私たちの健康」の講演録で、私たちが知っている部分だが、検討委員でもある講師は家庭の人工芝の形状を知っていたとは思えない反応だった。委員の年輪一三三という基準を踏まえ、講師は人工芝の形状を知っていたのか。放射性物質を含む焼却灰受け入れと清掃工場の焼却灰から基準値超の数値が出たらどうするの。放射線汚染に関する超の値のメールの件数について伺う。区長、放射線量の局地的な高濃度地域は、随年の影響を受けるため場所は予測不能、悪影響の調査であり、出されるホットスポットの認識を問う。内部被ばく問題は深刻になる中、子ども用に、最も慎重な基準値を検討する。値が高くなるから、区が評価した測定器は、国の評価では低く出るとは、では。



はるのおがわプレバパーク

一般質問

放射能汚染対策、危機管理対策を質す (Portrait of Fumiko Nunobiki)

区長 人工芝の形状は特許取得なので、区民もその形状を知るには少ない。学校のグラウンドにという測定器と話しあり、土の探ると説明した。ゴムの土はこの機器はやれない。知らなくてそれができない。都内で五千丁の廃棄物受け入れを、二十三日清掃、部事務組合の三分区清掃も含め都が中心に調べる。都が巨額の瓦れきや焼却灰の災害廃物を十月から受け入れ始め、鉄道等でも都に運び込み、民間処理業者が処理を担い、埋め立てをる段取り、放射能濃度測定等、安全性を確保して行う予定。環境省の焼却灰等の処分方法に関する指針に基づき処理する。四百四十二件、放射能濃度は五十一件、(四月は三十三件、五月は十件、六月は三十三件、十月は十件、八月は三十三件、九月は三十三件)当日は担当役員、ホットスポットは新しい言語で正しい評価基準や数値について判断する。年輪一三三という基準で判断する。年齢別基準値はなく、国の基準値を信頼して対応する。測定器は高く出るとい、都の決定器は、

問 七月の講演会「放射線と私たちの健康」の講演録で、私たちが知っている部分だが、検討委員でもある講師は家庭の人工芝の形状を知っていたとは思えない反応だった。委員の年輪一三三という基準を踏まえ、講師は人工芝の形状を知っていたのか。放射性物質を含む焼却灰受け入れと清掃工場の焼却灰から基準値超の数値が出たらどうするの。放射線汚染に関する超の値のメールの件数について伺う。区長、放射線量の局地的な高濃度地域は、随年の影響を受けるため場所は予測不能、悪影響の調査であり、出されるホットスポットの認識を問う。内部被ばく問題は深刻になる中、子ども用に、最も慎重な基準値を検討する。値が高くなるから、区が評価した測定器は、国の評価では低く出るとは、では。

問 徒歩帰宅や交通機関復旧待機で帰宅困難者も、自分が無くて家の安全も確認されれば助ける側の方となる。安全確認する手はずは、誰かを助けるための手順を出して、その他の帰宅困難者を出して考える具体的なイメージはあるか。防災訓練を見る視点に拡大するつもりはあるか。地域の消火用水槽は、戦前にできたものが多数あるが耐震性は、区内在住管理九

問 区内在住管理九人は何分で参集可能か。初動体制とは、職員何人が何時間に参集という前提か。区長 区の想定では帰宅困難者は約一万余人、帰宅困難者協議会は約一万余人、帰宅困難者を社員に広げていくしかない。確かに噴火の可能性はある。その際は焼却灰の除去とトラック協会との協定に基づき搬出という形になる。基準を下りたして消防局の認定を受けている。十四分まで参集可能。初動体制とは被災情報の受け付け等による。防災宿直、防災住宅入居職員等を含めて二百人余、全職員の一、二割が参集する形。

問 学校給食費公会計、予防接種、被ばくの自衛支援等を伺う (Portrait of Kenji Kimura)

民主党 鈴木 建邦 議員 (Portrait of Kenji Kimura)

問 「学び合い」等を活用した「言語活用の充実」を、コミュニケーションの適宜更新、教育委員会、小中三校が研究してはどうか。他校にも広めたい。



保健師として
生ボリ才接種を急減を受け、不活化ボリワクチンの助成、啓発を、ロタとB型肝炎ワクチンを受けやすい体制作り。母子手帳に予防接種記載欄を増やし利便を図れ、被ばく対策を確保。保健師の改善を進めたい。大震災の教訓を生かした見直しを実施。全校の状況を把握し対策の徹底に努める。

児童福祉科 恵比寿地区の小中学校をモデル校とし、来年度は3小学校2校で運営を開始。現時点で移行は考えてない。一部改善を図りたい。都教委の取組みと共に、区独自の校務改善を進めたい。大震災の教訓を生かした見直しを実施。全校の状況を把握し対策の徹底に努める。

問 発達心理学の教授は、小学校卒業、中学校入学という

答 発達心理学の教授は、小学校卒業、中学校入学という

問 地域生活支援センター「さやかかーむ」の利用方法について

答 地域生活支援センター「さやかかーむ」の利用方法について

問 熱中対策について

答 熱中対策について

高齢者が安心して暮らせる介護保険制度等5点を問う

日本共産党 菅野 茂 議員

介護保険制度について

すべての要支援者にこれまでのサービスを保険し、介護予防、日常生活支援総合事業に置き換える事は極めて重要。給付と負担のバランスを考慮し、どうするか検討

問 電力の一般競争入札の実施等3点を問う

答 電力の一般競争入札の実施等3点を問う

問 制度改正により持株構電事業者への電気料金を削減できるかどうか

答 制度改正により持株構電事業者への電気料金を削減できるかどうか

電力の一般競争入札の実施等3点を問う

みんなの党 須田 賢 議員

電力の一般競争入札の実施等3点を問う

制度改正により持株構電事業者への電気料金を削減できるかどうか

問 千駄ヶ谷区民会館、代々木一丁目自主管理施設上りベアターを設置すべき

答 千駄ヶ谷区民会館、代々木一丁目自主管理施設上りベアターを設置すべき

問 次回定例会のお知らせ

答 次回定例会のお知らせ

問 総務区民分科会

答 総務区民分科会

問 都市環境分科会

答 都市環境分科会

問 文教分科会

答 文教分科会

問 福祉保健分科会

答 福祉保健分科会

問 総務区民分科会

答 総務区民分科会

問 文教分科会

答 文教分科会

問 福祉保健分科会

答 福祉保健分科会

問 総務区民分科会

答 総務区民分科会

問 文教分科会

答 文教分科会

問 福祉保健分科会

答 福祉保健分科会

問 総務区民分科会

答 総務区民分科会

* 質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、区政資料コーナー、区立図書館で会議録(12月下旬発行予定)をご覧ください。

平成23年6月17日
～平成23年10月25日

委員会の活動状況

総務区民委員会

本町地区小中一貫教育校 月十七日の施設開設に向け（渋谷本町学園）建設工事について、現地を視察し、進捗状況の報告を受けました。

東日本大震災により、一部資材の納入が遅れたものの、事故もなく、来年度の開設に向けて鋭意工事に取り組んでいることを確認しました。

質疑の中で、竣工までの間、引き続き安全確保に最大限の配慮を行うよう要望しました。

地域交流センター 西原建設工事について、現地を視察し、進捗状況及び施設の開設予定に関する報告を受けました。

建設工事は順調に推移しており、十一



本町小中一貫教育校視察

都市環境委員会

都市計画道路補助十号線（松濤一丁目）工事現場を視察しました。工事完成後の仮設的な交通量の検証を行っていることで、危険箇所を信号機を設置するとの報告を受けました。長期間にわたる工事であり、今後地元住民の意見を十分取り入れて進捗を進めるよう要望しました。

住宅簡易改修支援事業について報告を受けました。

文教委員会

被災東八区立小中学校教員三名を派遣したとの報告を受けました。質疑の中で、区内として島の長い支援を続けていくよう要望しました。

新橋・大向保育園で開設した一時保育の実施状況について報告を受けました。

質疑の中で、実施範囲の連携を図るとともに、柔軟に運用できるように要望しました。四月開始の派遣型病二病後復旧保育の利用が助成

福祉保健委員会

平成二十三年年度 第一回 線量測定、給食食材の放射能測定を定期的に行い、谷区介護保険事業計画協成委員会の報告を受けました。この委員会は、平成二十四年度から三年間の中期介護保険事業計画の基本的方向性を検討するものです。

質疑の中で、区民の要望にこたえたいきめ細かなサービス向上を図るとともに、それに必要な措置を国に要請するよう求めました。



ひがし健康プラザ視察

議会運営委員会

第三区渋谷区議会定例会について、区長から九月二十八日に招集したいとの報告がありました。

提出予定議案として、区内における暴力団排除活動に関する基本理念等を規定するため、渋谷区暴力団排除条例の制定（第一号）及び国民健康保険事業会計補正予算（第一号）が提出されました。

また、二十一年度一般会計及び特別会計の決算認定五件並びに、二十二年度財政健全化判断比率の報告及び渋谷都市整備公社の経営状況の報告など五件を提出するとの説明がありました。

当委員会では、定例会の二期を協議し、会期を九月二十八日から十月二十五日まで、二十八日前とすること、また、決算特別委員会を設置して審査することを決定しました。

自治権確立特別委員会

九月十日、渋谷清掃工場と北側用地の現地視察を行いました。

北側用地の取得整備に向けて、地域住民に理解されやすい有効活用を図るよう要望しました。



渋谷清掃工場視察

交通・公有地問題特別委員会

環状6号線（山手通り）あるブロック舗装で色分けの街路整備について現地を視察しました。平成二十一年度以前高速度中央環状新宿線が山手通りの地下に完成したのを期に、地上部分の街路拡幅整備を行っています。地検付近かつ順次南に向かい工事が進められており、渋谷区内についても今年度中に歩行者通行帯と自転車通行帯が透水性の

あるブロック舗装で色分けされ、植栽帯も整備されていきます。自転車対策や球温帯化等も意識した構想になっています。委員からは、自転車道は車道が原則である、舗装の色分けだけでは歩行者と自転車のす分けが不十分であり、路面表示等によるさらなる工夫が必要等の指摘がありました。

個人情報保護関係	平成二十三年七月一日
情報保護公開関係	平成二十三年七月一日
情報保護実施状況	十月三十日
請求件数	十件
文書件数	五十件
公開件数	五十件
請求件数	0件

第 3 回定例会 / 議案等の概要と結果		自 民 党	民 主 党	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属 党	み ん な の 党	純 粋 無 所 属	結 果 賛 成 × 反 対
件名	概要								
平成23年度一般会計補正予算(第4号)	補正金額 185,800千円 ・ 越前町費の設定 ・ 本町第二保育園仮園舎設置工事等								可決
平成23年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	補正金額 195,913千円								可決
健全化判断基準の報告について	実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び早期健全化基準								
(株)渋谷都市整備公社の経営状況の報告について	区役所地下駐車場の営業実績は、時間駐車利用台数が延べ275千台。洗車駐車場は、延べ243千台。営業利益は、2億4504万4847円。								
(株)渋谷サービス公社の経営状況の報告について	営業実績は、スポーツセンター運営管理業務、代官山スポーツプラザ運営管理業務、ひがし健康プラザ運営管理業務、プラネタリウム施設運営業務等の、全50事業の売上は14億9228万6247円。								
渋谷区土地開発公社の経営状況の報告について	執行状況は、公共施設整備用地(本町4丁目4-1他2件)にかかる土地取得費で、3億7869万7484円。								
公益財団法人渋谷区美術振興財団の経営状況の報告について	事業実績は、展覧事業7回、講演会4回、ギャラリートーク9回、音楽会1回、映画会10回、美術相談会8回、美術教室5コース等で延べ利用者数27,751人。								
暴力団排除条例(制定)	区において暴力団排除の姿勢を明確にする。 ・ 暴力団排除の基本理念 ・ 区、区民、事業者の責務 ・ 区民、事業者、警察等との連携等								可決
平成22年度一般会計歳入歳出決算	歳入決算額 85,714,564,211円 歳出決算額 80,974,967,223円 歳入歳出差引残額 4,739,596,988円				×			×	認定
平成22年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 20,705,877,175円 歳出決算額 19,805,877,175円 歳入歳出差引残額 900,000,000円					×			認定
平成22年度老人保健医療事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 12,245,849円 歳出決算額 12,245,849円 歳入歳出差引残額 0円								認定
平成22年度介護保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 10,584,231,792円 歳出決算額 10,502,747,124円 歳入歳出差引残額 81,484,668円				×				認定
平成22年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 3,882,173,858円 歳出決算額 3,868,107,858円 歳入歳出差引残額 14,066,000円				×				認定
区民のいのちを守るため安心できる国民健康保険制度を求める請願		×	×	×		×	×		不採択
所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願		×	×	×		×	×		不採択
児童福祉センターのプール再開を求める請願		×	×	×		×	×		不採択
子どもたちを放射線被曝から守るための請願		×	×	×		×	×		採択
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書									決定

区議会ホームページのお知らせ

渋谷区議会では、区議会情報をはいち早くお知らせするため、ホームページを開設しています。

掲載している情報内容

区議会の活動(今後1か月の会議の予定、定例会・臨時会・委員会の開会予定、質問項目、提出予定議案、議決結果など)

区議会議員の紹介(顔写真、所属党派、役職、所属委員会、住所、氏名、電話・FAX番号、Eメールアドレス、議席番号)

区議会の構成(議長、副議長、議員選出監査委員、委員会構成、会派構成、議場案内図、区議会案内図)

区議会のあらまし

- くぎかいのおはなし(小学生向け)
- 区議会だより(平成16年第1回定例会以降)
- 区議会月報(平成14年1月分以降)
- 会議録(平成15年5月分以降)
- 政務調査費収支一覧
- 議長交際費

ホームページアドレス
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>
 渋谷区役所ホームページからもリンクしています。

お知らせ

議員の住所等変更 23 年 8 月 15 日
 浜田 池沼 議員
 050-3737-7585
 議員の住所等変更 23 年 10 月 28 日
 治田 学 議員
 新住所
 窪塚 3-54-6
 アーバンプラネクス101号
 議員の住所等変更 23 年 10 月 28 日
 小林 崇央 議員
 新住所
 03-3455-0307
 新FAX番号
 03-6317-4966

会派役員交代(23 年 2 月 22 日)
 みんなの党新役員
 副幹事長(政調会長)
 小林 崇央 議員
 副幹事長(会計)
 須田 議員

小冊子「しぶや区議会のあはらし」ができました

渋谷区議会についてわかりやすく説明した小冊子、議員紹介の小冊子、議員紹介のしくみや傍聴、請願、陳情などについて解説しています。

主な内容は次のとおりです。

- 区議会と区議会議員
- 区議会のしくみ
- 区議会のあはらし
- 議員からの広報
- 議会の情報公開・個人情報保護
- 区議会のあゆみ

区議会事務局(区役所5階)で配付していますので、是非ご利用ください。



今日は、第3回定例会の内容をお知らせしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様にご意見を寄せください。

区議会事務局調査係

TEL (054) 310-9096
 FAX (054) 310-9039

電子メールアドレス
kugikai@city.shibuya.tokyo.jp

会派等一覧

(幹事長 / 副幹事長)

平成 23 年 7 月 22 日現在

渋谷区議会自由民主党議員団
 丸山 高明
 丸山 高司
 下嶋 倫朗
 佐藤 真理
 齋藤 竜一
 桑谷 賢治

渋谷区議会公明党議員団
 植野 修
 伊藤 誠
 渡瀬 誠
 沢島 英隆
 宮野 茂
 菅野 茂
 新保 久美子
 吉 孝二
 無所属
 長谷部 健
 葉丸 義人
 伊藤 親志

渋谷区議会民進党議員団
 浜田 浩樹
 佐々木 弘明
 治田 学
 鈴木 建邦

渋谷区議会純粋無所属議員
 堀切 稔一
 小川 政也
 小川 政也
 須田 聡
 須田 聡